

日本赤十字九州国際看護大学 第20回国際シンポジウム

テーマ 他

日本の性教育の現状と問題点  
～性教育に向けて、  
いま私たちにできること～

日時: 2021年2月25日 (木)  
14:00～16:30

会場: zoomによる  
オンライン

コロナで未成年者の妊娠が増加したらしい。

どうして何？

たことないな。

るかな。

こ。

のは恥ずかしい。

生知識は十分なのかな。

性教育って学校だけのものなの？



・挨拶  
こんにちは、国際シンポジウム実行委員会です！  
国連が2015年から2030年までの長期的な開発指針としてSDG'sを設定しており「2030年までに、家族計画、情報、教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健サービスを全ての人々が利用できるようにする」ことを掲げています。日本のこの目標達成指数では比較的達成しているとなっています。  
しかし、昨今の日本においては新型コロナウイルス蔓延による外出自粛によって、10代の若者の性と生殖に関する興味関心の高さが窺われ、知識不足に関する性教育への問題が浮き彫りになっています。  
今年度のテーマは『日本の性教育の現状と問題点～性教育に向けて、いま私たちにできること～』です。私たちと密接に関わる性教育について深く考える機会が少ないと思います。現代の性教育のあり方について一緒に考えてみませんか？  
お気軽にご参加ください！

シンポジウムプログラム

14:00～14:10 開会式

挨拶 国際シンポジウム実行委員長 会長 福嶋実穂  
日本赤十字九州国際看護大学 学長 小松浩子

14:10～14:40 第1部

基調報告 本学学部

「性教育を学ぶ意味について考える～生と向き合い日本にあった方法を見つけよう～」

- 1)性教育に関する日本の考え方
- 2)日本の歴史と文化からみた性教育の実際
- 3)学校での性教育の現状
- 4)家庭での性教育の状況
- 5)諸外国と比較した上で日本に求められる性教育の方法とは

14:40～15:00 グループディスカッション 参加者

「基調報告を受け、感じたこと考えたことの共有」

14:50～15:00 休憩

15:10～15:50 第2部 基調講演 内田美智子様 助産師

「日本での性教育活動の実際における課題について」

15:50～16:25 グループディスカッション 参加者

「日本の性教育実践の多様化に向けて今私たちができること」

16:25～16:30 閉会式

挨拶 国際看護実践研究センター長 小川里美  
国際シンポジウム副実行委員長 中西花誉